

二五七八番

朝寝髪あさねがみ 我われは梳けうらじ 愛うるほしき 君きみが手枕たまくら 触ふれ
てしものを

二五七九番

はや行ゆきて いつしか君きみを 相見あひみむと 思おもひし心こころ
今いまそなきぬる

二五八〇番

面形おもかたの 忘わするさあらば あづきなく 男をとこじもの
や 恋こひつつ居をらむ

二五八一番

言ことに言いへば 耳みみにたやすし すくなくも 心こころの
中うちに 我わが思おもはなくに